

名古屋市立大学の教養教育

高等教育院 院長 高石 鉄雄

大学教育の使命は高度な専門能力をもった職業人を養成すること、さらには、あらゆる視点からものごとを深く捉え、社会をより良い方向に導く教養豊かな人間を育成することにあります。この後者を主に担っているのが教養教育です。21世紀社会はますます複雑になり予測が難しくなります。特定領域の専門的な知識だけでは、これからの社会を生き抜くことはできません。自分の専門分野以外の知の拠点をより多く持つことが21世紀人に求められています。また、人生100年時代に向けて議論が進められているいま、職業人としてのみならず一人の人として心豊かな人生を送る上でも教養は不可欠といえます。その礎を築くため、教養教育では、学びの方法、自己管理の基礎、コミュニケーションやプレゼンテーションの基本、自分の将来を描く力も同時に学びます。

平成28年度から名古屋市立大学の教育力を全学的に結集した教養教育が構築され、さらに今年度からはグローバル化に対応すべく、語学カリキュラムが大幅に変更されました。学生のみなさんは自身の専門分野だけでなく、自身がどのように生きるか、教養とは何かなども深く考えながら、教養教育で積極的、主体的に学修を進めてください。

名古屋市立大学の教養教育の主な特徴

◇ 大学特色科目

〈全学部・研究科を結集した教養教育体制〉

「大学特色科目」の中には、初年次教育科目と地域特色科目が含まれます。

初年次教育科目は「大学生になる」「大人になる」「社会人になる」の「なる系」科目と「NCU先端科目」から構成されています。「なる系」科目では大学生として身につけるべき基本的なアカデミックスキル（学びの作法）、大人として自覚に基づいた自己管理・身体管理方法、キャリアデザインに必要な視野を学びます。また、「NCU先端科目」では本学教員の研究の最先端を知ることによって大学での学びや研究への夢を育みます。初年次教育科目でしっかり学び大学生活を円滑にスタートさせると同時に、名市大生としての自覚も育んでください。

地域特色科目では名古屋という地域の特色を学び、大学での学修と研究と地域との連関、地域で生きるものの意味について考えます。

◇ 多様な知の準拠点を作る一般教養科目

〈各学部の専門家教員による多彩な授業〉

「大学特色科目」以外の一般教養科目は、高い専門研究能力をもった本学の教員が中心となり、専門外の学生のみなさんにもわかりやすい形で現代人に必要なさまざまな教養を講義します。アクティブラーニングや双方向型授業も導入されていますので、学生のみなさんの積極的な学修が求められます。教養教育科目では、企業人、弁護士、弁理士、編集者、行政経験者（名古屋市役所OBの特任教授）、名古屋市環境科学調査センターの方などの実務経験者が現場の知を語る講義科目を設置しています。複雑な現代社会を生き抜くため、実社会の中で構築された知を学修してください。またプロ棋士による授業を通して、日本文化を深めると同時に戦略的思考を学修します。

◇ 特色ある英語教育

〈学生のニーズ、興味、能力に合わせて選択できる多様な科目の提供〉

英語の力は近年ますます社会から求められています。本学では、高校までの英語教育に加えて、「聞く」「話す」力を育成して英語による実践的なコミュニケーション力を高めるため、すべて英語によるレクチャー・ディスカッション形式や少人数ゼミ形式など、目的・内容・方法論を特化した多様な科目を提供し、学生は興味、能力に合わせて、選択し、学ぶことができます。

◇ その他の言語の学修

〈その他の言語学修を通じて他文化への視点を学ぶ〉

グローバル化が進む現代社会では他文化への豊かな視点が求められます。教養教育では英語以外に、ドイツ語、フランス語、中国語などの10言語の中から選択し、学ぶことができます。これらの言語の基礎を学び多様な文化への豊かな視点を獲得してください。また「中国短期語学研修」「フランス短期語学研修」では、中国、フランスの大学に2週間程度滞在し、集中的に外国語を学修するとともに、現地の学生と交流し、その地の文化、社会を学ぶことを目指します。

◇ 未来を切り開く課題を学ぶ

〈課題を学ぶ関連科目群〉

教養教育科目は課題別に「課題を学ぶ関連科目群」に編成してあります。一覧表（p.36）を参照しながら、各自の問題関心に従って積極的に学修してください。

◇ 理数系の基礎学力を向上させる

〈基礎科目とリメディアル教育科目〉

物理学、化学、生物学、数学・統計学などは、あらゆる理科系学問分野において学修の基礎となります。教養教育では、これらの学力が必要になる学部学生のための「基礎科目」を設置し、あわせて高校での未履修科目を補うため「リメディアル教育科目」を設置しています。

◇ 教室だけでなく学外へ出て学ぶ

〈実地の調査、体験を重視する社会連携教育科目、実習科目を配置〉

教養教育では、教室で学ぶだけでなく、郊外の丘陵地、東山動植物園、名古屋港水族館、名古屋市博物館など、学外に出て、実地の調査、研究、実習を行なう科目を設置しています。また、「医薬看連携地域参加型学習」は、これらの三学部の学生が医療人の基本的な技能、地域のニーズ、チームワーク力などについて学ぶもので、地域参加型の学習科目になっています。また、「ボランティア科目」を設置し、ボランティア活動を単位認定しています。

◇ 教育の質保証

〈教育課程の改革や授業技法の向上に取り組んで教育の質を向上させる〉

名古屋市立大学では、よりよいカリキュラム（教育課程）の構築を目指して継続的な改革を行ない、また、すぐれた授業技法を有する教員のノウハウを全学で共有すべく「研究授業」や「教育改革フォーラム」を実施するなど、教育の質保証に力を入れています。